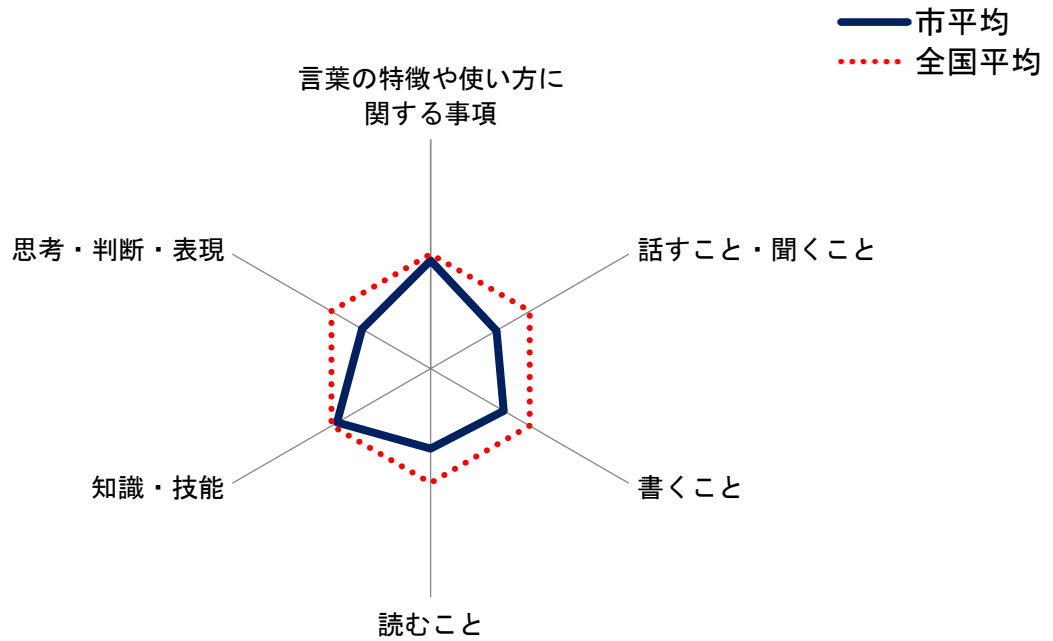
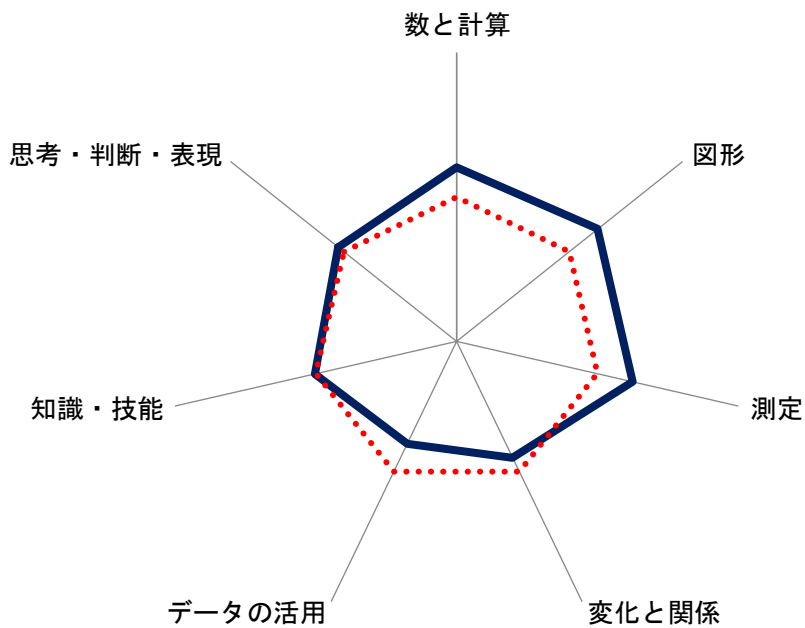


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

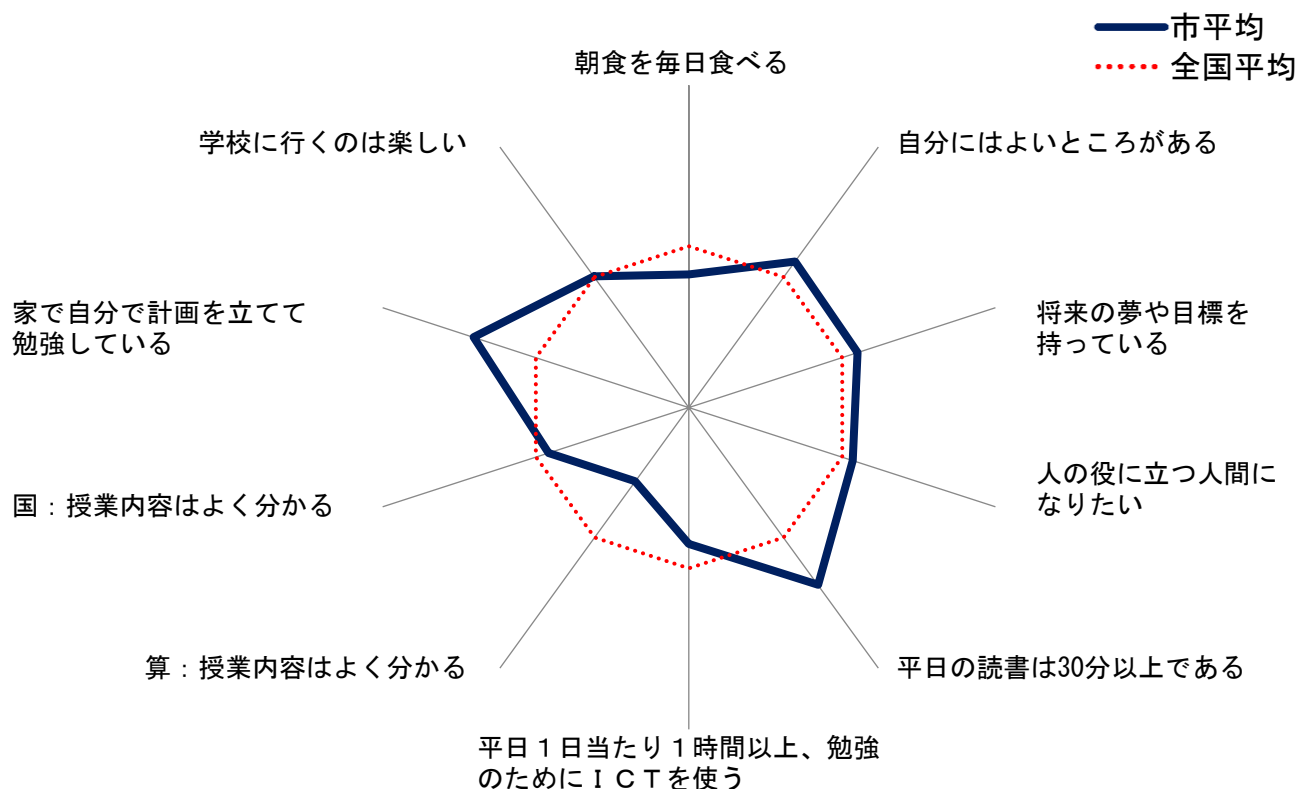
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、算数は多くの項目が全国平均を上回っており、特に「図形」「測定」の項目が良好な結果となっている。一方、国語は全ての項目が全国平均を下回る結果となっている。今後、児童一人一人の課題をしっかりと分析することにより、知識及び技能の確実な定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成を図る取組の推進が望まれる。

児童質問紙調査では、「平日の読書は30分以上である」「家で自分で計画を立てて勉強している」の項目は全国平均を大きく上回っており、前回調査から改善が見られる。継続して読書に親しむ習慣づくりに努めたり、家庭における自主学習の充実に向けて取り組んだりしてきたことが結果に表れていると考えられる。一方、「朝食を毎日食べる」の項目は前回調査と同様に全国平均を下回っている。一人一人の児童へのきめ細かな指導により、基本的な生活習慣の確立に向けた取組を引き続き進めることが望まれる。